

## 市政を 問う

# 令和2年 第2回定例会 一般質問での質問・答弁(要旨)

一般質問を行った議員の順番で、各議員が一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。

## 感染対策で質問自粛、自民党を代表して質問

※自民党市議団では、感染症対策で一般質問を自粛、本橋が会派を代表して質問をした。

### ◆PCR検査について

**本橋** PCR検査については市民の関心が高い。具体的な検査の方法について問う。**市** 国分寺市、府中市、国立市、小金井市の医師会の共同運営で行い、かかりつけ医や医療機関が必要と判断した場合に行う。**本橋** 医師会、保健所との連携をしながら新型コロナウイルス感染予防に取り組んでいただきたい。

### ◆子育て世帯への支援策について

**本橋** 子育て世帯へはどのような支援策があるか問う。**市** ひとり親世帯への支援策として、

児童育成手当受給世帯へ**3万円の支援**を行う。また出産・育児支援給付金として、国の10万円の定額給付金の対象が4/27までに出生している方が対象のため4/28以降でかつ緊急事態宣言中に出生された方に**5万円の支援**を行う。**本橋** 自民党市議団として求めている出産・育児支援給付金について、迅速な支給をお願いしたい。

### ◆オンライン教育について

**本橋** 感染症対策の一環でオンライン教育への対応が社会的にも求められている。市の取り組み状況を問う。**市** インターネットを活用した学習支援コンテンツを整備している。ギガスクール構想を踏まえ、PCやモバイルルーターの

自由民主党市議団  
本橋 たくみ



貸与について整備していく。**本橋** 一人一台IT端末があるのが理想である。充実した整備をお願いする。

◆市内事業者への経済対策(家賃補助を含む)について **本橋** 自粛要請により、経済的に困窮をしている事業者もいる。家賃補助について市の対応を問う。**市** 国の補正予算に盛り込まれている。必要性を認識しているところであり国分寺市としても検討したい。**本橋** 経済状況が刻一刻と変化をしていく状況にある。家賃支援を含め迅速かつ充実した支援をお願いする。

## コロナウイルスによる市政運営への影響は？

### コロナ対応による業務の遅延状況について

**だて** 新型コロナウイルスの感染拡大防止や特別定額給付金、その他支援策への対応等の業務量増加と在宅勤務やコロナ関係部署への応援といった体制変更により、市の通常業務・計画の進捗にも大きな影響があったことと推測する。各部ごとに状況を説明願いたい。

**政策部長** 三密回避のため、市民参加のワークショップや審査会が開催できず、国分寺ビジョンの後期実行計画や新庁舎基本計画の策定が遅れている(新庁舎竣工も数カ月遅延予定)。

**市民生活部長** 第2次国分寺市就労支援プラン策定に遅れがある。検討手法やスケジュールの

調整を行っていく。

**健康部長** 地域福祉計画に関連する4計画に遅延がある。12月までに進捗を調整していきたい。

**福祉部長** 高齢者保健福祉計画や障害者計画等の策定に遅れが生じているが、年度内に行う。

**まちづくり部長** 道路・交通網計画における地区別カルテ(地区ごとの交通網調査)の作成が遅延している。また、環境基本計画や第一種低層住居専用地域指定エリアのまちづくりに関する説明会や審議会等が開催できていない。

**建設環境部長** 都市計画公園・緑地の整備方針及び、緑確保の総合的な方針は7月改定に遅延している。内藤さつき公園の整備は市民懇談会

国分寺政策市民フォーラム  
だて 淳一郎



が開催できないため、年度内の設計完了で進んでいる。

**子ども家庭部長** プレイステーションと東恋ヶ窪三丁目での新規親子ひろば事業が開始できていない。感染予防対策をしっかり検討する。

**総務部長** 防災まちづくり学校の開始時期が遅れており、今後どうするか検討中となっている。

**だて** 学校施設の整備や保育所誘致等には遅れないようであった。今後第二波、第三波も織り込んだ市政運営を業務の質を落とすことなく、遅れを取り戻せるようご尽力願いたい。

## 産後ケアの早期実現で安心できる体制確立を

### 1. 切れ目ない子育て支援について

**さの** 都から追加支給される育児パッケージのギフトカードの対象と対応は。**市** 事業開始は7月1日。4月1日時点で妊娠届提出者やこれ以降出産された方も対象。ゆりかご面接時や郵送により配布する。**さの** ゆりかご・こくぶんじ事業もこの間中止となったが、今後のために「オンライン面接や相談」の取り組みを進めるべき。**市** 中止の間は電話で対応した。オンラインの環境整備に向けて検討を始める。**さの** 乳幼児の健診や両親学級も中止となったが、特に母子ともに大事な「3ヶ月児健診」どのように再開していくのか。**市** 「3～4ヶ月児健診」

は6月から再開予定。個別健診の受診希望者には市独自事業として費用を助成する。

**さの** 東京都は孤立化や産後うつ未だ防止を図るために、産後ドゥーラを含む家事育児サポーターを派遣し、産後の家事・育児支援する事業を推奨、拡充している。里帰り出産がしにくい状況下、妊産婦の不安にこたえるためにも「産後ケア事業」を早期に推進すべき。**市** 現在、他自治体の視察やアンケート実施でニーズを把握中。実施に向けて準備をしていく。

### 2. 安全・安心のまちづくりについて

**さの** 昨年の台風19号の経験から市民への情報伝達手段強化策として「防災ラジオ」を提案し

公明党  
さの 久美子



ている。市の考え方を問う。**市** SNSを活用しない世代への情報伝達方法の確保は重要であり、コミュニティ放送の立ち上げについても、地域を巻き込んで、その可能性を調査する。

**さの** コロナ禍での災害の備えのため、避難所での感染症対策としての備蓄品の拡充と避難所の3密を防ぐための避難所増設を求める。「在宅避難」を市民にさらに訴えていくべき。**市** 新たな避難所として都立公園の活用を検討。避難所にWi-Fi整備する。**さの** 避難所運営マニュアルの修正が必要。**市** 協議の上、対応する。

## 介護関連事業への支援を強く求める

◆計画策定について◆ (問) 働き方や暮らし、社会の価値観が変化している。また、経済の厳しさは財政に大きく影響する。今年度策定予定の計画には、これらの要素を反映する必要がある (答) 市民ワークショップや審議会などが中止や延期になり、市民参加の代替の手法を検討している。新しい生活が迫られていることも踏まえ計画策定を進めたい (問) 市民参加は欠かせない。オンラインの活用も手法の一つとして取り入れてはどうか。若い世代の参加にも期待できる (答) 情報収集しながら研究検討したい。(問) 感染症対策に柔軟に活用できる寄附制度や基金の創設を! (答) 検討の一つと考える。

### ◆医療・介護・福祉サービスについて◆

(問) 排泄や食事、入浴の介助など利用者との接触が避けられない介護の現場では、高齢者や基礎疾患のある方に感染させてはいけないと張り詰めた緊張が続いている。感染への不安から利用者が減り収入が減少する一方で、感染防止に必要なマスクや消毒剤、使い捨て手袋、防護服等の価格は高騰している。介護保険や障がい福祉サービス事業者が安定して事業を継続できるよう必要物品の支給、経済的支援を求める。(答) マスクと手指消毒剤は配布してきたが、今後も事業者の声を聞き必要な支援を行う。防護服等は、今は医療を優先に配布しているが、

無会派(国分寺・生活者ネットワーク)  
高瀬 かおる



必要な場合は介護現場の相談にも乗っていききたい。市として給付金の支給について考えている。(問) 外出や介護サービスを控えた高齢者の健康状態等を把握し、感染リスクも踏まえた今後の介護の在り方の検討を求める (答) あらゆる機会を捉えて情報収集し状況の把握に努める。社会参加も難しい中、どのように介護予防、フレイル予防が行えるのか検討していきたい◆他に、希望する介護や医療従事者が優先してPCR検査を受けられる体制整備、発熱外来の設置、感染症に関する相談体制づくり等提案した。